

科目名	地域福祉論						
	【社会福祉士必修】						
授業形態	講義	学年	2年	開講時期	通年	単位数	4単位
担当教員	久保 美由紀						

内容および計画	1990年の社会福祉関係8法改正や社会福祉基礎構造改革以降、わが国の社会福祉政策はその方向性を地域福祉へと大きく転換してきています。そのなかで、高齢者介護や子育て支援、ホームレス等の社会的排除や虐待・暴力、さらに地域格差の拡大などの新たな生活問題の発生に対し、その問題解決の方策として地域福祉は大きな役割を担うこととなります。地域福祉が対象とす生活問題の実際やその背景を理解するとともに、地域福祉の基本的考え方、理念について理解しながら、地域福祉の実践方法や専門職として求められることなどをとりあげ学習していきます。
1	福祉問題と地域福祉
2	地域における人びとの暮らしの実際と生活課題の現状
3	地域における人びとの暮らしの実際と生活課題の現状
4	地域福祉の基本理念
5	地域福祉の基本理念
6	地域福祉理念の発達
7	地域福祉理念の発達
8	地域福祉と法制度
9	住民参加と地域福祉
10	住民参加と地域福祉
11	地域福祉の主体と主体形成
12	地域福祉の主体と主体形成
13	地域福祉の対象と課題
14	地域福祉の対象と課題
15	地域福祉の基本的考え方についておよび地域福祉の主体と対象についての確認
16	地域福祉における地方自治体の役割と実際
17	地域福祉における民間組織の役割と実際
18	地域福祉における福祉専門職の役割と実際
19	地域福祉における福祉専門職の役割と実際
20	地域福祉における地域住民の役割と実際
21	地域の福祉ニーズの把握
22	地域福祉の推進方法
23	地域福祉の推進方法
24	地域トータルケアシステムの構築
25	地域トータルケアシステムの構築
26	地域ケアと在宅ケアの統合
27	地域ケアと在宅ケアの統合
28	地域福祉計画の必要性と策定方法
29	地域福祉計画の必要性と策定方法
30	まとめ

教科書	初回講義時に説明します。
-----	--------------

参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・野口定久（2016）『人口減少時代の地域福祉』ミネルヴァ書房 ・大橋謙策（2014）『ケアとコミュニティ』ミネルヴァ書房 ・松岡洋子（2005）『デンマークの高齢者福祉と地域居住』新評論 ・江口英一（1987）『生活分析から福祉へ』光生館 ・社会福祉（小）六法（出版社は問いません） ・厚生労働省『厚生労働白書』（各年） ・厚生統計協会『国民の福祉と介護の動向』（旧：『国民の福祉の動向』）[各年] などなど。その他、授業中に紹介します。
-----	--

成績評価	評価方法	割合
	定期試験	70%
	小レポート等	30%
初回講義時に改めて説明します。		

学習到達目標	地域福祉の主体と対象についての理解する。 地域福祉の政策や実践を進める際の基本理念について理解する。 地域福祉の実践方法や推進方法について理解する。
先修条件	
その他	新聞やニュース、雑誌等に目を通し現代社会のなかで議論されていることや問題として考えられていることなどについて関心を向け、その背景を理解できるよう努めてください。